

騙されて
獅子王が

H
な
お仕事を
し
ちやう本

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

RoyalBitch





ようこそ
カジノキャメロットへ。

ムキ
おや？
驚かれたご様子ですね。
ふふ…これがカジノの
バニーガールの正装
なのですよ。

ムキ

ムキ
ムキ

カジノのバニーガールは
お客様にご奉仕するのが仕事…
いつでもおまんこできる
エッチな恰好をするのが
正式な作法だそうです。

ふふ、一つ賢くなりましたね。
さあ、中へご案内いたします。
お客様…♡

フッ
フッ

カジノのバニーガールとは、
お客様にご奉仕するための
存在だという。

ならば、このように殿方たちを
悦ばせるため、性器を露出した
衣装になるのも必然と言える。

なにしろ、ウサギは繁殖の象徴
であるから、いつでもどこでも
交尾できなくてはならない。

さわ
さわ

カードのプレイ中、ゲームに
参加しないお客様は自由に
私の体を触ることができる。

私の乳房を揉み、
乳首をこねくり、
尻を撫でまわす。
そうして、私の
反応を伺うのだ。

もちろん——
私の表情は変わらない。
ポーカードフェイス。
それがカードを操る
ディーラーの絶対条件だ。



「…さてお客様、報酬はコインを？それとも私の身体を？」



相手はニンマリとした笑みを、私は期待の微笑みを浮かべる。

熱を持った性器からは、潤滑液が流れ出す。殿方のペニスを受け入れる準備をしているのだ。

私はお客様の腕に身体を預け、別室に行く——交尾の時間だ。

トロ♡



お客様のカチカチに勃起した
ペニスを優しくズボンから
出してやると、おもむろに口に含む。

どうやら、殿方たちは私の服装に
性的魅力を覚えるようで、
カードのプレイ中に頻繁に
勃起してしまうようなのだ。

ならば、お客様が勃起している時に、
それを口で慰めるというのは、
バニーガールの責務といえるだろう。

ねっとり絡みつく香りを
私の唾液と混ぜつつ口中を転がし、
まんべんなく亀頭を舌で舐め上げる。

やがて、お客様の高まる吐息とともに、
子種汁が尿道を駆け上がったいき、
遠慮なく私の口の中に吐き出される。



口一杯に広がる艶めかしい香り。
芳醇なその液体を口の中に広げ、
また舌でかき集め、飲み下す。

「ご馳走様でした：お客様♡」
しかし、私が口の端に垂れた精液を
舐めとりながらそう嘯くと、
またお客様のペニスは
硬く勃起してしまうのだった。





屹立するポールを殿方の男根に見立て、
それに身体をこすりつける
ようにくねらせるのだ。



もちろん、一段高い
ステージの周囲は
お客様方が取り
囲んでいる。



私の性器は衆目にさらされ、
じんわりと熱を帯びる。
性器を隠す無粋な布などは存在しない。



王として生きた私にとって、
このような煽情的な踊りという
ものは今だ経験したことがなかった。

フリフリ

踊りながら足を大きく開き、濡れた性器をお客様に見てもらおう。くぱ、と性器を開いて見せると、ほお、と驚きの声上がる。

その私が、殿方たちに秘所を開き腰を振って誘っている。その事実になぜか頬が熱くなるが、それも脳髓のしびれのうちに溶けてゆく。

「なんと、あの獅子王が……」
という声が囁かれる。
そう、私は誇り高き水着剣豪であり、円卓を統べる獅子王——

今はただこの興奮のうちに身を委ねていたい。

お客様が飲み物を零し服にかけてしまった。
濡れてしまった服を預かり、浴室に導く。
服が乾くまで、心身をリラックスしていただく。
当然、私がおお客様の身体を洗う。

ビキ

は、

は、

ぬちゃ
ぬちゃ

ビキ

ビキ

本来なら、入浴は裸で行うものだが、
最低限のマナーとして極小のビキニだけの姿になる。
カフとタイだけはバニーガールとして外すわけにはいかない。
きめの細かな泡を、自分の身体を使って
お客様の身体に擦りつけてゆく。
クリトリスが刺激され、つい甘い吐息が漏れる。

全身にローションを塗りお客様と抱き合う。
まるで身体全体が粘膜になったかのような
艶めかしい接触。

アッ

びゅっ

びゅっ

アッ

もちろん、舌と舌、性器と性器での接触も怠らない。口を吸い合わせ、唾液を交換しながら、お客様の硬くなった性器を自分の膣に導き、滑らかな摩擦と快感を与えていく。

やがてあふれ出た精を、膣で優しく受け止める。甘いしびれが下腹部に走る。

奉仕の快感……

これは王としては味わうことのなかった悦びだ。

んっ

お客様との交尾の際に、
騎乗位はひとときわ
悦ばれる体位だ。

おそらくは、汁音を立てる
結合部、激しく弾む胸、
発情した顔——それらを
一望できるからだろう。

私自身、騎乗位には
奇妙な興奮を覚える。
本来お客様のペニスに
ご奉仕すべき存在である
バニーガール——

その自分が、お客様に馬乗り
またがっている、という矛盾
それが私に倒錯した感情を
与えるためだろうか……



お客様の舌を受け入れ、
唾液を混ぜ合わせ、
相手に飲ませ、自分も飲み込む。
愛情を示す、ついでにむむような
軽いキスを繰り返す。

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ

ちゅっ
ちゅっ

その間も、腰は止まる
ことなく動き、
お客様のペニスを
刺激し続ける。

ちゅっ

やがて、私が何回かの
絶頂を迎えたあと、
ぶるりとした震えとともに、
お客様が精液を私の
子宮に向かって解き放つ。

ひゅっ
ひゅっ

ひゅっ
ひゅっ

ひゅっ
ひゅっ

精子はまっすぐ
私の子宮を目指して
泳ぎ続ける。

「もう一回…
なさいますか？
ご主人様…♡」

ソクソク
ソクソク

大勝したお客様の要望で、
首輪をつけての「散歩」に
出かけることになった。

光に溢れる眩しい
夜のラスベガスを、
裸同然の恰好で、
首につけられた
リードをひかれて
歩いていく。

なんだろう、この心臓の高鳴りは。
私はただ、カジノのバニーガール
として当然の振舞いを
しているだけなのだが。
周囲からの視線に晒されると、
頭がくらくらとしてしまう。

トロ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

クキ

お客様に
命じられるままに、
路上で足を広げ、
おねだりのポーズ。

どうやら、ある国では、
犬が性器を見せつける芸：
「ちんちん」というのだとか。

舌を出し、放尿し—
ご褒美を甘い声で
おねだりするうちに、
なんだか自分が本当に
犬になったような
心持ちもしてくるから
不思議なものだ。

ちんちん

チンチン

ブル
ブル

ワン

ワン

ワン

ワン

無造作に突き出される
男性器に困まると、
否応なく自分の膣が
熱くなってくるのを感じる。
今から自分はこの沢山の
肉棒によって蹂躪されるのだ。

私の口に、私の胸に、
私の尻に、私の膣に……
その光景が目には浮かんでしまう。
頬が熱くなり、高鳴る心臓の鼓動を
おさえきれない。

認めるしかないだろう。
私は犯されることを期待し、
興奮しているのだ。



突き出される男性器に
吸い付き、舐め回し、
しゃぶりあげる。
そのたびに頭の中で火花が
チリチリと弾けるような感じがする。

口の中に出された精液を
舌で丹念にこねてから飲み干すと、
また次の男性器が突きつけられる。
私はまたそれにしゃぶりつく。



鼻をくすぐる男性の
香りにクラクラしてしまおう。
私は、アルトリアは
ちんぽしゃぶりだ。
これが本当の私なのだ！



やはりバニールガールの交尾といえ、
四つん這いになってのバックだと私は思う。
首輪につけられたリードを引かれながら、
尻穴の奥深くまで挿入されると、
脳に火花が散るような衝撃が走る。

同時に口につつまれた男性器を
夢中で舐めじゃぶる。
下からは膣を突き上げられ、
快感はさらに膨れ上がり、はじけ、
また膨張する。





もはや自分が何を叫んで
いるのかも分からない。
ただひたすらに犯される
ことを乞いねだる。

膣には際限なくお客様たちの
精子が注がれていき、私は
隷属の感覚に子宮を熱くする。



頭のとっぺんから爪先まで、
快感でじびれるようだ…。
絶頂の波が繰り返し押し寄せ、
私の自我を押し流していく…



もはや、カードをプレイする目的の
お客様はいなくなってしまった。
お客様たちは私のまんこにちんぽを
突き立てるために列をなしている。

私は媚びるような笑顔を向け、
尻を差し出してふりふりと
振って見せる。



上手におねだりできると、
お客様がちんぽを突っ込んでくれる。
私はだらしのない嬌声をあげ、
すぐにイッてしまう。
私は、もうすっかりセックスの
虜になってしまった……。

はっ

はっ

排卵が近づいている。
私の欲望が、私の身体を
いやらしく変えていく。
ご主人様たちの関心は、
私を妊娠させることに
注がれるようになった。

ご主人様たちは競うように私の
膣内におちんぼ汁をぶちまける。
その量、その回数を自慢するように。
そして誰もが、一番に私を
孕ませようとしているのだ。

私は快感の奔流の中で、
その時を待っている。
私の中の卵と、ご主人様
たちのちんぼ汁が出会い、
混ざりあい、新しい命になる
神秘的な瞬間を。



ほどなく——私は妊娠した。
ぽっこりと膨らんだ腹には
新たな生命が宿っている。

大きく膨らんだ乳房からは、
とめどなく母乳が吹き出てくる。
ご主人様たちが薄い笑みを浮かべながら
それを舐めとり、飲み干す。

生まれてくるのは女の子らしい。
直感が囁く。きつと、私と同じ
黄金の髪色と整った顔立ち——
そして、どうしようもないほど淫乱
であることだろう。

脳髓をぞくりと快感が走る。
ああ、母娘で、ご主人様たちにご
奉仕できる。
その日が来るのが待ちきれない——。

きゅん


ようこそ、カジノ・キャメロットへ
お越しくださいました。

おや…ご存じないようですね。
カジノのバニーガールは、
こうしてお客様のおちんぽにご奉仕を
するための存在なんですよ♥

この私のエッチなおまんこに
いっぱいっぱい、
ぴゅっぴゅしてくださいね…♥

ふふ、勃起してしまいました？
大丈夫です、すぐにこのアルトリアが
気持ちよくヌいて差し上げますから♥





バニー獅子王が騙されて
Hなお仕事をしちゃう本

発行日：2019年10月6日

発行元：ろいやるびっち

発行者：haruhisky

印刷所：トム出版

連絡先：

haruhisky1@gmail.com

RoyalBitch

バニー獅子王を騙して
Hなお仕事をさせる本

DOJIN
R18
成人向け
18歳未満の
購入・閲覧禁止

